



福岡県居住者の 住宅購入に関する意識調査 結果報告書

2012年12月
株式会社ジーコム 生活行動研究所

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

平成24年11月6日(火)～11月12日(月)

4. 調査規模

300サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	140	46.7
女性	160	53.3
全体	300	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	60	20.0
30代	60	20.0
40代	60	20.0
50代	60	20.0
60代以上	60	20.0
全体	300	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	105	35.0
公務員・団体職員	19	6.3
会社役員	6	2.0
商工自営業	18	6.0
農林漁業自営	1	0.3
自営手伝い	2	0.7
主婦専業	66	22.0
パート・アルバイト	37	12.3
学生	12	4.0
無職	24	8.0
その他	10	3.3
全体	300	100.0

■未既婚	件数	構成比(%)
未婚	77	25.7
既婚・子どもなし	38	12.6
既婚・長子が小学生以下	70	23.3
既婚・末子が中学生以上で扶養中	47	15.7
既婚・扶養する子供なし(子育て終了)	68	22.7
全体	300	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡都市圏	233	77.7
その他福岡県内	67	22.3
全体	300	100.0

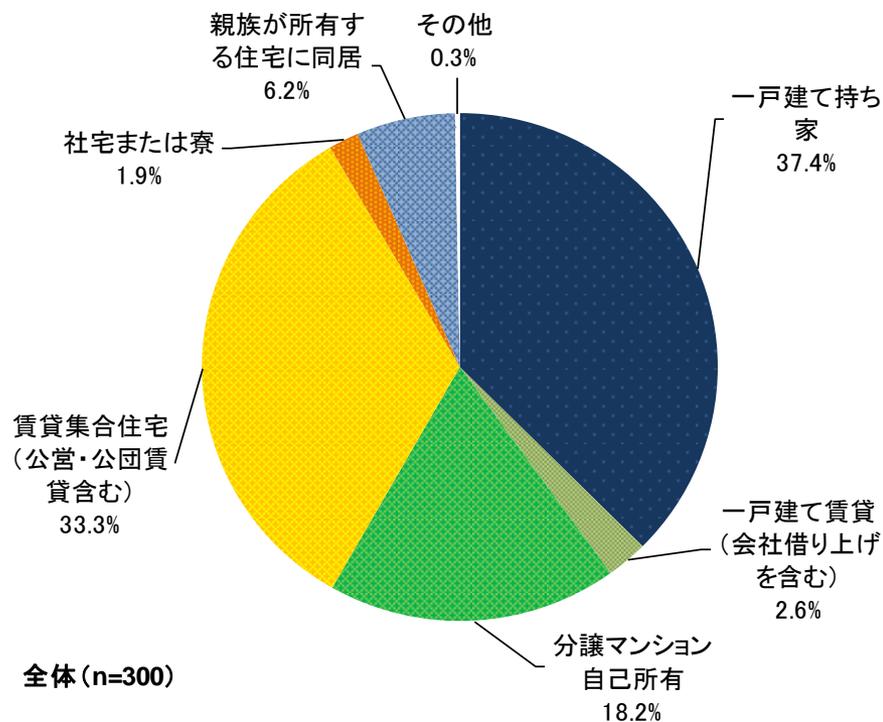
【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の場合、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

調査対象者の現在の住居形態は「一戸建て持ち家」の割合が37.4%で最も高く、次いで「賃貸集合住宅」33.3%、「分譲マンション自己所有」18.2%の順である。

・年代別に見ると、年代が上がるにつれて「一戸建て持ち家」の割合が高くなっている。また、20代は「賃貸集合住宅」、50代は「分譲マンション自己所有」の割合がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。

◆現在の住居形態【単一回答】

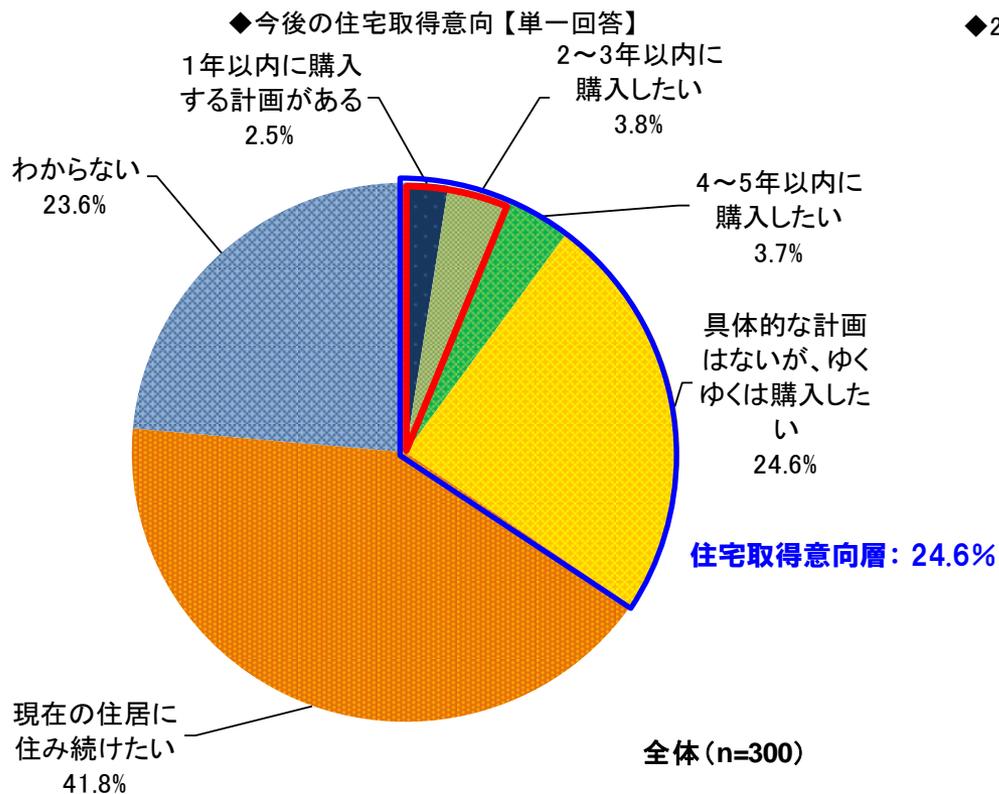


		調査数	一戸建て持ち家	一戸建て賃貸 (会社借上げを含む)	分譲マンション自己所有	賃貸集合住宅 (公営・公団賃貸含む)	社宅または寮	親族が所有する住宅に同居	その他	【%】
合計		300	37.4	2.6	18.2	33.3	1.9	6.2	0.3	
性別	男性	140	43.6	1.9	20.4	27.1	1.2	5.3	0.5	
	女性	160	31.9	3.3	16.4	38.8	2.6	6.9	0.2	
年代別	20代	60	22.3	2.0	4.3	59.1	2.0	10.3	-	
	30代	60	22.8	4.8	20.9	37.2	2.4	12.0	-	
	40代	60	32.4	3.8	21.7	35.3	3.3	3.5	-	
	50代	60	48.4	1.5	29.5	14.5	2.0	3.5	0.6	
	60代以上	60	61.0	1.2	14.8	20.4	-	1.5	1.2	

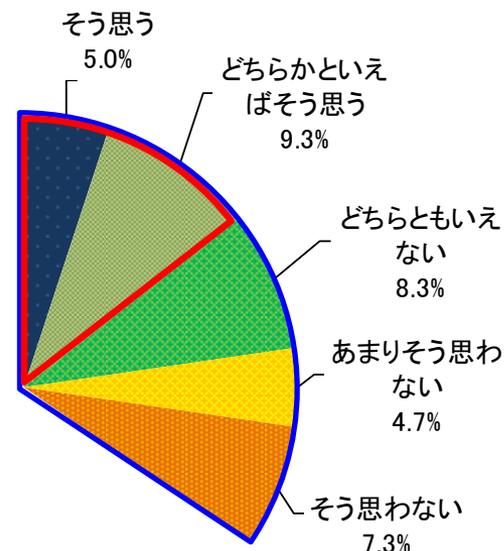
3年以内の住宅取得意向層は、消費税率引き上げ時期(2014年4月)についての説明前約6%から、説明後は約14%と倍増。

今後の住宅取得意向については「現在の住居に住み続けたい」の割合が41.8%で最も高く、次いで「具体的な計画はないが、ゆくゆくは購入したい」24.6%である。3年以内に購入意向のある層は6.3%である。

なお、購入時期を問わず住宅取得意向がある層に対して消費税の増税時期を説明した上で再度購入時期について尋ねたところ、2014年4月(8%に引き上げ)までに取得意向がある層(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計値)は14.3%となった。



◆2014年4月(8%に引き上げ)までに購入したい【単一回答】



3年以内取得意向層: 6.3%

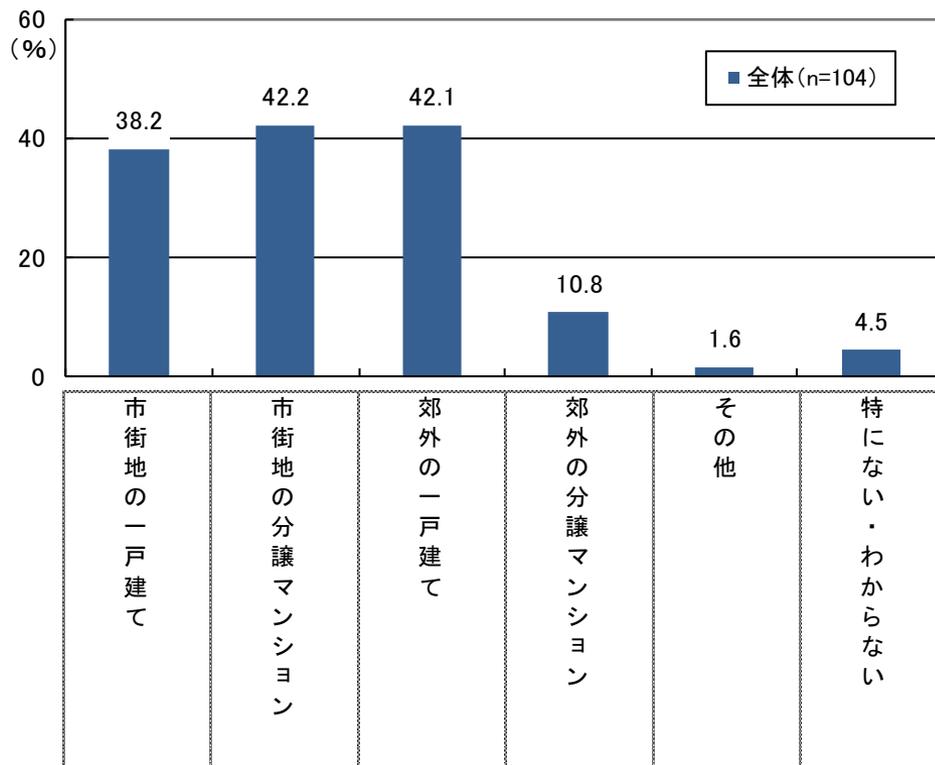
消費税率引き上げ時期の説明後

2014年4月以前での取得意向層: 14.3%

購入したい住宅のタイプは「市街地の分譲マンション」「郊外の一戸建て」「市街地の一戸建て」の割合が高い。

住宅取得意向層における購入したい住宅のタイプは、「市街地の分譲マンション」の割合が42.2%、「郊外の一戸建て」が42.1%、「市街地の一戸建て」が38.2%であった。

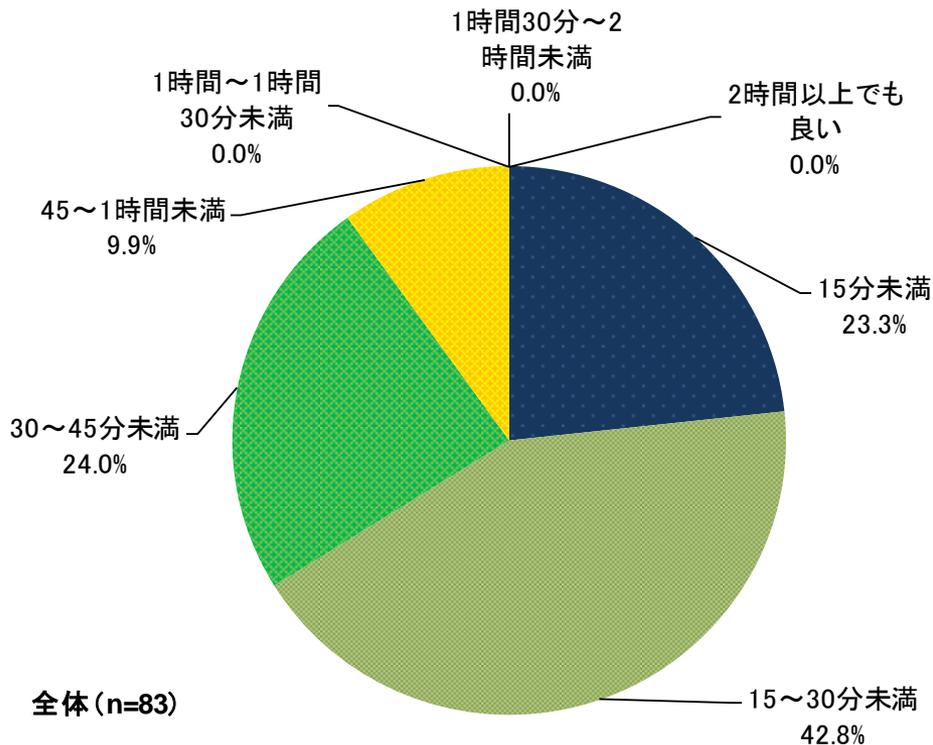
◆購入したい住居のタイプ【複数回答】



理想的な通勤時間は平均25.6分、通勤時間の限界は48.8分。

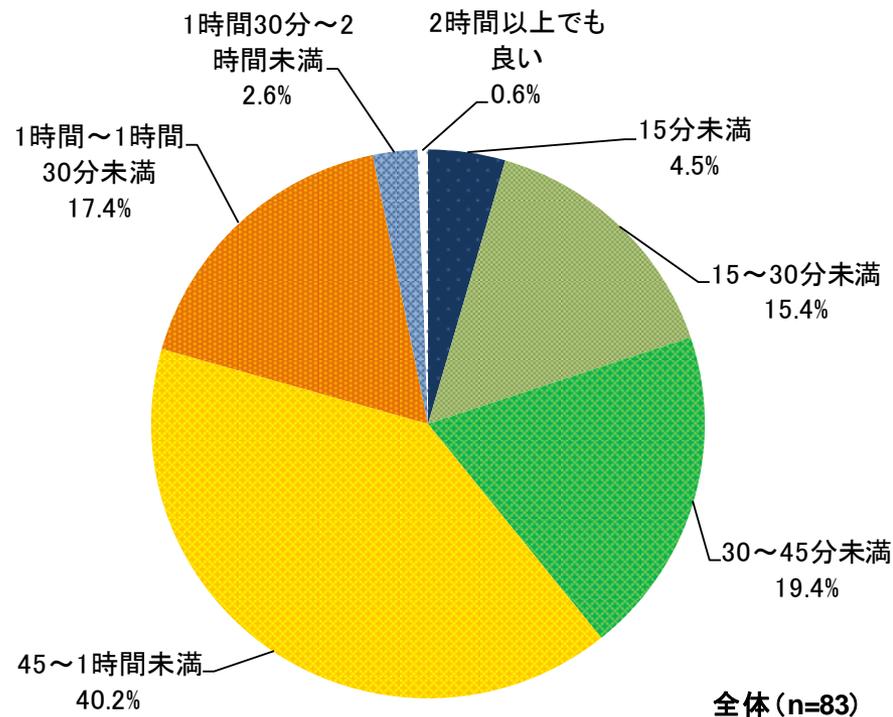
住宅取得意向層のうち通勤勤務者における自宅から職場までの理想的な通勤時間は、「15～30分未満」の割合が42.8%で最も高く、平均所要時間は25.6分である。また、所要時間の限界については「45分～1時間未満」が32.2%で最も高く、平均所要時間は48.8分であった。

◆自宅から職場までの理想的な所要時間【単一回答】



理想的な通勤時間：平均25.6分

◆自宅から職場までの所要時間の限度【単一回答】

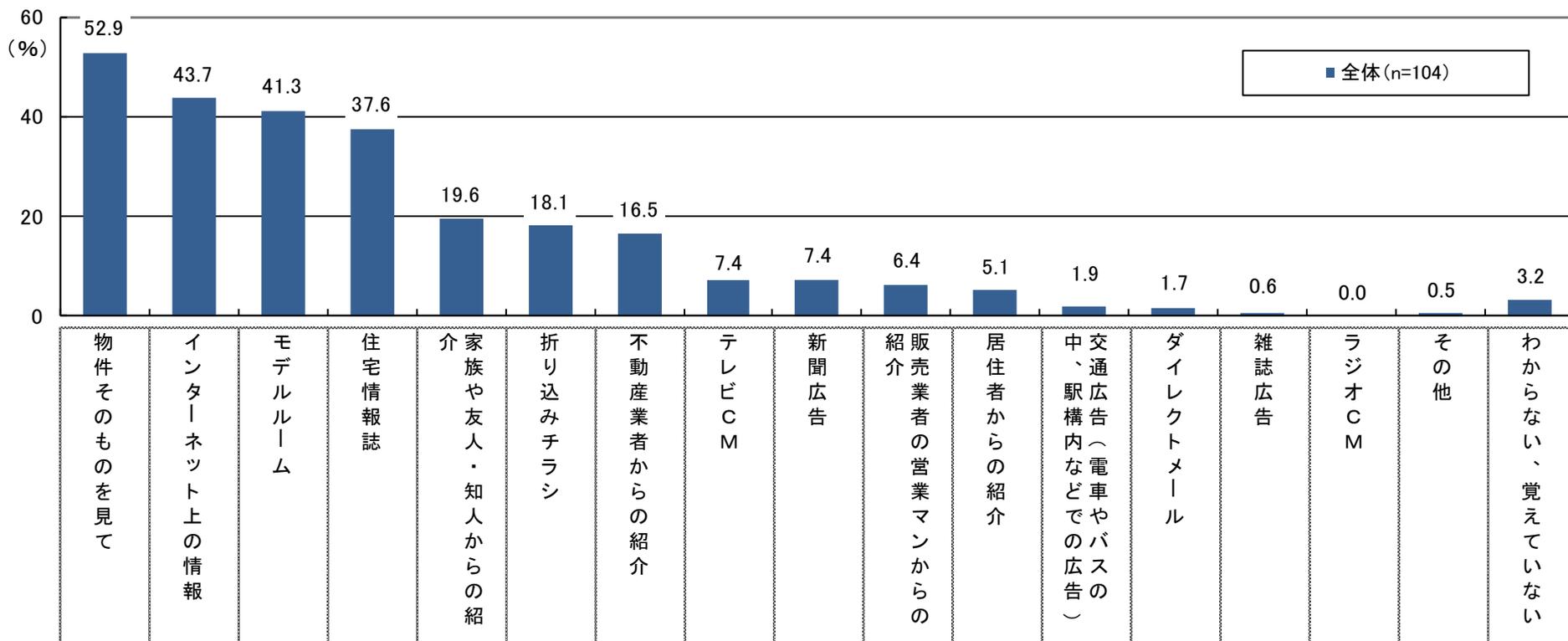


通勤時間の限界：平均48.8分

参考にしたい情報源は「物件そのものを見て」に次いで「インターネット上の情報」。

住宅取得意向層が購入の際に参考にしたい情報源は、「物件そのものを見て」の割合が52.9%で最も高く、次いで「インターネット上の情報」43.7%、「モデルルーム」41.3%、「住宅情報誌」37.6%の順である。

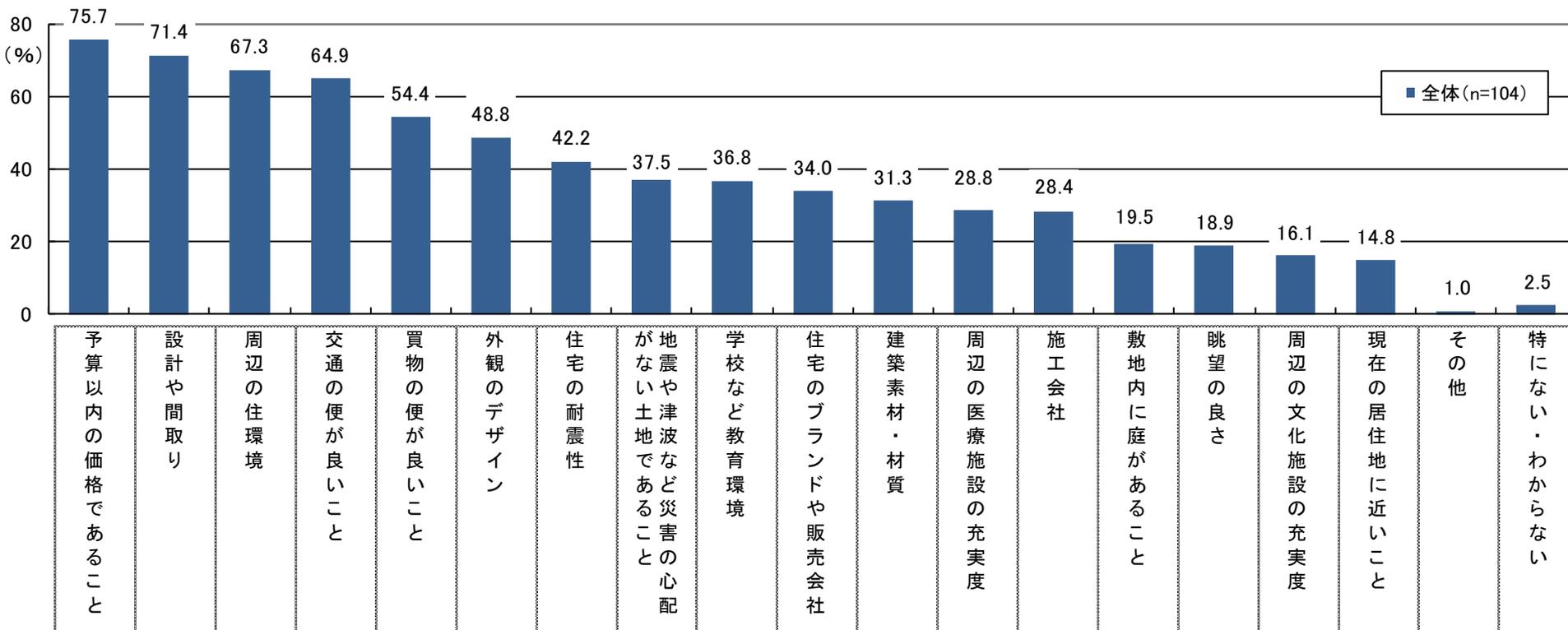
◆住宅購入の際に参考にしたい情報源【複数回答】



住宅購入時の重視点は、「予算内の価格」「設計・間取り」「住環境」「交通の便」が上位。

住宅購入の際に重視する点は、「予算以内の価格であること」の割合が75.7%で最も高く、次いで「設計や間取り」71.4%、「周辺の住環境」67.3%、「交通の便が良いこと」64.9%の順である。

◆住宅購入の際の重視点【単一回答】



発行元：株式会社ジーコム 生活行動研究所

福岡市博多区古門戸町2番4号 KSコモンドビル4F

TEL092-283-2085

FAX092-262-6110

URL：<http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail：info@gcom-net.co.jp